

2013.7.20

生誕200年 ワグナーとヴェルディ 第3回 二人オペラ作曲家

プログラム

今年生誕200年を迎えた、音楽史上最大のオペラ作曲家と言われるワグナーとヴェルディ。二人の名作を聴きながら偉大な足跡を辿るシリーズの第3回目です。

ヴェルディの「オテロ」はシェイクスピア名作戯曲をオペラ化した晩年の傑作。キプロス島を舞台に将軍オテロは貴族の娘デズデモナと結婚するが、部下イアーゴ悪巧みによって最愛の妻を疑い、ついには殺してしまう。やがてイアーゴの画策と知ったオテロは罪を詫び、自らの命を断つという悲劇ですが、音楽とドラマが見事に一体化され、ずっしりとした手応えを感じさせる名曲です。「運命の力」は中期の名作ですが序曲は特に有名です。

「ニーベルングの指輪」は序夜と3部の4日間、合計15時間を要するワグナー渾身の超大作で、圧倒的なスケールと壮大な音楽が繰り広げられます。「ラインの黄金」では、ラインの河底にある黄金をめぐる天上の神々、地上の巨人、地下の小人達が争う有り様を描き、「ワルキューレ」(ワルキューレとは知の神エルダが産んだ8人の娘達)では大神ヴォータンが指輪を奪還しようと双児の兄妹からジークフリートという英雄を産み出し人間界に送り込むまでを描きます。「ジークフリート」は英雄ジークフリートの物語で、「神々のたそがれ」は指輪を得たジークフリートの野望も指輪の魔力やビリュンヒルデの自己犠牲によって崩れ落ち、指輪はラインの乙女達の元へ戻って行くという物語です。ワグナーの圧倒的音楽空間をお楽しみください。

ジュゼッペ・ヴェルディ (1813~1901):

歌劇“オテロ”～

第1幕 愛の二重唱 “もう夜も更けた”

第2幕 四重唱 (オテロ、デズデモナ、イアーゴ、エミーリアによる)

第3幕 終幕の場 / 第4幕 “柳の歌”～“アヴェ・マリア”～オテロの死

ブラシド・ドミンゴ(テノール)……オテロ/アンナ・トモワ・シントウ(ソプラノ)……デズデモナ

シルヴァーノ・カローリ(バリトン)……イアーゴ/ステファニア・マラグー(メゾ・ソプラノ)……エミーリア

カルロス・クライバー指揮ミラノ・スカラ座管弦楽団/ミラノ・スカラ座合唱団

(1981.9.2 NHKホールでのLive 演出:フランコ・ゼフィレッリ)

歌劇“運命の力”序曲

リツカルド・ムーティ指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

(2009.5.1 イタリア、サン・カルロ歌劇場でのLive)

*** 休憩 ***

リヒャルト・ワグナー (1813~1883):

舞台祭典劇“ニーベルングの指輪”

楽劇“ラインの黄金”～

第1幕 第4場 “避けよ、ヴォータン”/“ヴァルハラへの神々の入場”

ルネ・ハーペ (バス)……ヴォータン/アンナ・ラーシヨン (メゾ・ソプラノ)……エルダ

ドリス・ゾッフエル (ソプラノ)……フリッカ/シュテファン・リユーガマー (テノール)……ローゲ

ダニエル・バレンボイム指揮ミラノ・スカラ座管弦楽団/ミラノ・スカラ座合唱団

(2010.5.26 ミラノ・スカラ座でのLive 演出:ギー・カシアス)

楽劇“ワルキューレ”～

第3幕 “ワルキューレの騎行”/“ヴォータンの告別と魔の炎の音楽”

アルベルト・ドーメン (バス)……ヴォータン/ヨハン・ポータ (テノール)……ジークムント

ヨン・クワンチュル (バス)……フンディング/エディット・ハラール (ソプラノ)……ジークリンデ

リンダ・ワトソン (ソプラノ)……ブリュンヒルデ/藤村実穂子 (ソプラノ)……フリッカ

クリスティアン・ティーレマン指揮バイロイト祝祭管弦楽団/バイロイト祝祭合唱団

(2010.8.21 バイロイト祝祭劇場でのLive 演出:タンクレート・ドルスト)

楽劇“神々のたそがれ”～

序幕 “ジークフリートのラインの旅”

第3幕 “ジークフリートの死と葬送行進曲～終幕の音楽”

ジュゼッペ・シノーポリ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

(1996.9.11 ルツェルン、クンストハウスでのLive)